

議会報告会記録（平成 26 年 5 月 19 日（月） 善防公民館）

1 部 議会報告

問：加西の酒で乾杯を推進する条例は、一過性に終わらずに継続できるように努めてほしい。

答：当然な意見。関連業者の活性化も含めて盛り上げていきたい。

問：市長公約の人口増対策の効果は出ているのか、修正はしないのか。加西病院への繰り入れ金 8 億円は際限がないのか。北条鉄道のトイレ改修等の寄付は、全市的に募るべきではないか。

答：自治体間の競争が激化、基金を減らす面もあるが暮らしやすさを向上させる施策を展開している。病院への繰り入れ金は 10 億円の要望もある。北播磨では低い金額。北条鉄道等への寄付は全市的に取り組む方向を出していきたい。

問：議長不信任が否決されているが、告発の結果ができればどうするのか。

答：認識不足で寄付行為になったが、法的な判断を待ちたい。ここでは答弁しない。

答：不信任の審議の詳細はインターネットで放映されているので確認してほしい。

問：ごみ処理の覚書は交わされていないのではないか。

答：覚書はない。行政間の経過の説明を受けて、議会として審議した。

問：人口増対策としての税金減免や奨学金の免除等、費用対効果の検証が必要。議会はどう対応しているのか、質問はされたか。

答：検証の必要性は議会でも取り上げているが、現時点の検証は無理な点もあるが検証は重要であり、真摯に受け止めて対応を検討したい。

要望：交通の利便性は図るべきで、国道 372 号の要望はどうなったのか、正確な情報がほしい。

意見：水道料金、市川町とのこれまでの友愛の水などの経過を踏まえて検討すべきでは。

意見：報告の時間が長く、質疑が短いので配慮すべき。

2 部 意見交換（地域活性化について）

問：直接、活性化になるかどうか、携帯電話やメール使用の運転を毎日、見かけるが、事

故防止の対策を強めてルールを順守することを、市全体で考えるべき。

答：指摘は交通事故対策として急務、飲酒運転撲滅と同様に「安心安全なまちづくり」として提起していく。

問：各世代を繋ぐ人材、コミュニケーション不足を補う人材、子どもの指導育成する人材等の確保が重要と考える。ふるさと創造会議の設置より、消防団の処遇改善が重要ではないか。

答：対立的に捕らえることなく、地域防災等からの消防団を考えたい。地域のリーダーの育成にも貢献・寄与してもらっている。

問：創造会議がどこまで「まちづくり」を目指すのか、どのレベルまでか、どのように考えているのか。予算の確保はどうなるか、絵空事にならないか。

答：円卓会議に多くの代表者が参加して地域の目標や計画を立てることが重要。優先課題には行政と連携、予算の確保や既成の補助の見直し、地域の独自性を発揮してほしい。

問：ふるさと創造は、先進地でも成功と失敗あり。条例を押し付けてはならない。目的・手段が明確になっていない。

答：地域での協議は有効なもので、意見の相違はあっても議論の場は重要。地域の力をどこまで結集できるかが大切と考えている。

意見：ふるさと創造会議は、準備会を開催しながら丁寧かつ慎重に取り組みを進めている。

《その他》

要望：加西市の職員募集は、ハローワークのみの募集ではなく、広く募集をしてほしい。